

その他

戦争犠牲者に
黙とうを



広島と長崎に原爆が投下された太平洋戦争が終わり、今年には77年を迎えます。

広島・長崎の原爆死没者及び戦争で犠牲になられた方々のご冥福と核廃絶、世界の恒久平和を祈念し、次の日時に市内一斉にサイレンを吹鳴します。

市民の皆さんも1分間の黙とうを行い、戦争で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りください。

- 時**
- ① 7月24日(日) 10時38分
(半田空襲の日)
 - ② 8月6日(土) 8時15分
(広島原爆の日)
 - ③ 8月9日(火) 11時2分
(長崎原爆の日)
 - ④ 8月15日(月) 12時
(終戦記念日)
- 問** 総務課
☎ 84-0613

公安系公務員
合同説明会



公安系公務員の就職に関する説明会を開催します。

- 時**
- ① 7月16日(土) 9時～12時30分
 - ② 7月23日(土)、24日(日) 9時～12時30分
- 場**
- ① 東海市芸術劇場
 - ② 半田地方合同庁舎
- 定**
- ① 70名(先着順)
 - ② 各30名(先着順)

制度説明機関

- ◇ 自衛官(自衛隊愛知地方協力本部半田所)
 - ◇ 警察官(愛知県警察半田警察署または東海警察署)
 - ◇ 消防官(知多中部広域事務組合消防本部または東海市消防本部)
 - ◇ 海上保安官(第四管区海上保安本部衣浦海上保安署)
- 申** 7月15日(金)までにQRコードより申込みください。

問 自衛隊愛知地方協力本部
半田所 ☎ 21-0004



▲申込み

ごん吉くんレポート
～南吉よもやま話～

第61回 南吉の昭和17年



「おじさんのランプ」「牛をつないだ椿の木」「花のき村と盗人たち」。この3編は新美南吉後期の代表作であり、彼の死の前後に出版された3冊の童話集(右写真)の表題作です。いずれも昭和17(1942)年の春に書かれました。

昭和17年1月には、学生時代に発症した結核の進行に伴う死の恐怖や不安、文学がせめてもの救いであることなどを連日日記に記す南吉ですが、春先にはそうした不安や恐怖を乗り越え、眼を見張る勢いで創作活動に打ち込むようになっていきます。心境が変わった要因はいろいろ考えられますが、自分の童話集が出版されるという夢が現実のものとして目の前に現れたからという理由が大きかったのではないのでしょうか。

折しも昭和16(1941)年12月には太平洋戦争が始まり、当時安城高等女学校で教師をしていた南吉は、教師としても童話作家としても戦争の影響を受けることとなりました。昭和18(1943)年3月に29歳で亡くなった南吉が死を覚悟しながら力を尽くした昭和17年。今年はそれからちょうど80年にあたります。

新美南吉記念館では、7月16日(土)から11月6日(日)まで特別展「南吉の昭和17年—私は死ぬ けれど私の仕事は死なない—」を開催します。昭和17年が南吉にとってどんな時間だったのか紹介する展示です。第一童話集『おじさんのランプ』の装丁と挿絵を手掛けた、日本を代表する画家、棟方志功の挿絵原画もご覧いただけます。

新美南吉記念館 小栗真子